

野球 令和3年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

1回戦 彦根東 6 - 2 守山北

| TEAM | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | R |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 彦根東 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 6 |
| 守山北 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

好機を活かし

1回戦突破

流れを変えて
勝利をつかむ



▼先発の友定君は被安打4に抑えた。

▲3番の竹山君は二度の盗塁を成功させるなど走者としても活躍した。



| 打順 | 守備 | スターティングメンバー |
|----|----|-------------|
| 1 | 6 | 辻 凌和君 (2-7) |
| 2 | 4 | 瀬尾貫太君 (3-4) |
| 3 | 8 | 竹山 築君 (3-6) |
| 4 | 7 | 鍛冶由玖君 (3-4) |
| 5 | 9 | 光本晴紀君 (3-3) |
| 6 | 3 | 小山 頌君 (3-7) |
| 7 | 5 | 笹山直央君 (3-6) |
| 8 | 2 | 渡部高大君 (3-5) |
| 9 | 1 | 友定 舜君 (3-8) |

4月11日に湖東スタジアムで令和3年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の1回戦が行われた。本校は守山北高校と対戦し、6-2で勝利した。

1回表の本校の攻撃、早速試合が動いた。無死満塁のチャンスで、4番鍛冶由玖君(3-4)が犠牲フライを打ち本塁が先制点を得る。その後一死一塁から5番光本晴紀君(3-3)が死球で出塁し、またもや満塁。続く6番小山頌君(3-7)の機打で1点を追加した。しかし4回裏で守備のエラーなどにより相手に適時二塁打を許し2-2と追いつかれる。2-2のまま迎えた7回表。二死一、三塁のチャンスで3番竹山築君(3-6)が適時打を打ち2点を奪った。4-2とリードを広げたまま迎えた9回表。一死一、三塁から2番瀬尾貫太君(3-4)が三塁から本塁を決め1点を得る。本校の攻撃は止まらず、4番鍛冶君が二塁打で出塁すると二死二塁で続く横田佑樹君(2-3)が適時打を打ち、さらに1点を追加。点差を広げた本校は6-2で勝利を収めた。守備面では先発の友定舜君(3-8)が9回まで投げ、2失点に抑える好投を見せた。

竹山君は今回の試合を振り返り「守備のエラーなどによって厳しい場面になったあと、打者の不調が続いたため、さらに悪い流れになってしまった。しかし自分のヒットで流れを取り戻すことができたと思うのでよかった」と微笑んだ。投手の友定君は「制球がうまくいかず、有利に試合を進められなかった場面もあった。次の試合では一球目からストライクを入れられるようにしたい」と意気込んだ。主将の今門良太君(3-3)は怪我により試合への出場を見送った。今門君はこの試合を「初回は良い攻撃ができたが、その後は流れがつかめず苦しい展開となった。投手が抑えてくれたため勝ち越してきたのだと思う」と分析した。監督の松林基之先生は「公式戦はやはり練習試合とは違う。今回の試合で勝てたことでチームが成長できたと思うのでよかった。また今回の試合では、たくさんの反省材料を得ることもできた」と振り返られた。また秋から春にかけての練習について松林先生は「秋季大会では速い球が打てなくて負けてしまっていた。そのため速い球を打てるように練習をしてきた」と説明された。最後に松林先生は「今後は投手を中心に少ないチャンスで勝利につなげていきたい」と目標を掲げられた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号